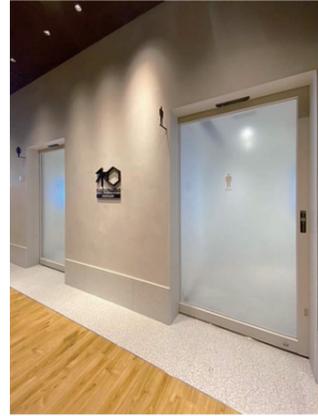


TOKYO TORCH 常盤橋タワー



外観

東京の新たなシンボルとなる東京駅前常盤橋プロジェクトTOKYO TORCHの第一弾。「これからの『働く』を豊かにする」を発信する、日本的なデザイン要素をふんだんに取り入れたオフィスタワー。



3Fカフェテリアラウンジ
nagomuma restroom
入口サイン



就業者の共有スペースの3Fカフェテリアラウンジに設けられたnagomuma restroom。人を和ませ、また次のアクションへとつなげていく「和」をコンセプトとし、入口サインも和と六角形のトイレブースからデザインされた。



3Fカフェテリアラウンジ
nagomuma restroom
トイレ入口



男女トイレの入口にブースの空き状況がわかるモニターを設置。さらに空室時のブース扉は認識しやすいよう、常時少し開いている。手洗器は全個室に完備。男性側は小便器前に2ヶ所設置している。



3Fカフェテリアラウンジ
nagomuma restroom
満空表示



入口のモニターには、空き状況のほかそれぞれにテーマを持たせた個室ブース4種類のデザインも表示。男女トイレの間にある個室は、混雑度のデータを分析しながら、男女の切替が可能。通常は不使用で「Closed」と表示。



3Fカフェテリアラウンジ
nagomuma restroom
大便器ブース



個室には、リフレッシュできるトイレとしてそれぞれにコンセプトが与えられている。「ひらめき」は、ホワイト基調で心と体が冴えわたる空間、「くつろぎ」は、ブラウン基調で緊張を緩和する空間としている。



3Fカフェテリアラウンジ
nagomuma restroom
大便器ブース



「いきぬき」は、ベージュ基調の優しい色合いの空間でほっと安らげる空間に。「おちつき」は、都会的で洗練され、落ち着いた雰囲気が高揚した気持ちを持ちを静められる空間としている。



3Fカフェテリアラウンジ
nagomuma restroom
大便器ブース



トイレ器具をIoTで管理する「パブリックレストルーム設備管理サポートシステム」を導入。水石けんの残量確認のほか、ウォシュレットの温水や便座の温度設定を遠隔操作できる。(コラボレーション期間時)



3Fカフェテリアラウンジ
nagomuma restroom
大便器ブース



視覚、聴覚で演出するリラックス。ブースに入室すると天井・鏡・足元の照明が点灯し、便座に座るとサウンドが流れる。サウンドは、4種類の内装コンセプトにあわせた音源になっている。(コラボレーション期間時)



3Fカフェテリアラウンジ
nagomuma restroom
フレキシブルブース



中央の2ブースは、六角形の2辺にドアを備え、男女切替が可能なフレキシブルブースとしている。使用しないドアには、はめごろしのパネルを設置し、ドアと認識されないようにしている。



3Fカフェテリアラウンジ
nagomuma restroom
男性トイレ
小便器コーナー



小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラフロアPUを設置。さまざまな利用者への配慮として、1ヶ所に小便器用手すりを取り付けている。



3Fカフェテリアラウンジ
女性トイレ



「nagomuma restroom」とは別に個室完結型ではないトイレも設置。さらに、手洗いだけの利用も可能となっている。男女ともに木目調のデザインで統一され、女性トイレのみ、スタイリングコーナーを設置している。



3Fカフェテリアラウンジ
バリアフリートイレ



入口には、男女共用のバリアフリートイレであることがひと目でわかるようサインを表示。車いす利用者やお子様連れ、オストメイトなど、さまざまな利用者に対応できる設備を完備している。

TOKYO TORCH 常盤橋タワー



基準階 オフィスフロア
女性トイレ
スタイリングコーナー



隣人の視線が気にならないように個別鏡を採用した、スタイリングコーナー。すぐ横には、個室のフィッティングルームがあり、着替えができるようになっている。



基準階 オフィスフロア
女性トイレ
洗面コーナー



オフィスフロアのトイレでは、2段のカウンターでドライエリアを設け、荷物の置き場所に配慮した機能的なツインデックカウンターを採用。自動水栓は、ワンタッチで湯水の切り替えができる仕様となっている。



基準階 オフィスフロア
男性トイレ



小便器と大便器は、ともに床の清掃性に優れた壁掛式を採用。大便器はフラッシュバルブ式を設置し、男女トイレともに、1ヶ所ずつL型手すりを設置している。



8Fオフィスサポートフロア
女性トイレ
スタイリングコーナー



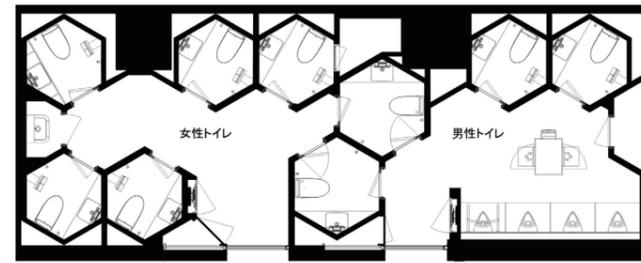
就業者専用ラウンジやコンファレンスルームがある8Fオフィスサポートフロアのトイレは、エレベーターフロアの内装と連動し、基準階と区別している。女性トイレには、広めのフィッティングルームを完備。



8Fオフィスサポートフロア
女性トイレ
洗面・大便器コーナー



洗面カウンターの高さは、女性が使いやすい800mm。内装は趣のあるブラウンで落ち着いた空間を演出。大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感も高めている。



nagomuma restroom
図面



8Fオフィスサポートフロア
男性トイレ
洗面・小便器コーナー

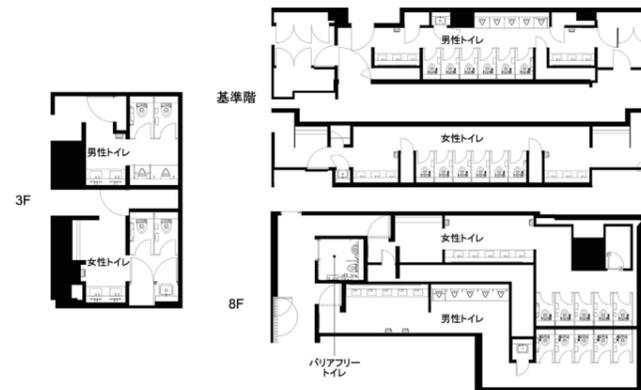


男性トイレの洗面カウンターは、高さを850mmと高めに設定。水はねを抑制し、かがんだ際にネクタイなどが垂れて濡れないように配慮している。間接照明で落ち着いた空間を演出している。



8Fオフィスサポートフロア
バリアフリートイレ

性的マイノリティの方など、多様な利用者に配慮したバリアフリートイレを1ヶ所設置。オストメイトに配慮して、汚物流しを備えている。



トイレ図面

水まわりの特長

建物の特徴

三菱地所株式会社による「TOKYO TORCH」プロジェクトは、東京駅日本橋口前常盤橋街で、10年超にわたって進められている再開発事業。「TOKYO TORCH常盤橋タワー」は、同プロジェクトの第一弾となる地上38階建てのオフィスビルであり、人と人が交わることの価値を感じる多様な機能を備えた「働く」を発信するシンボルタワーである。環境配慮への取り組みも積極的に推進、常盤橋タワーの開発資金調達においては、総合不動産会社初となる「グリーンボンド」を発行している。特色として、ビル内には就業者向けの共用空間が整備されており、3F MYShokudoについては、昼は就業者専用、夜はまちに開放される。8Fは、就業者専用ラウンジ、コンファレンスルームを備えたオフィスサポートフロアとなっている。

トイレの特長

3Fの共用スペースに設けられた「nagomuma restroom」は、三菱地所とTOTOのコラボレーションで誕生したトイレ。ワーカーが全オフィスフロアからダイレクトにアクセスでき、就業者向けである「MYShokudo(まいしょくどう)」があることから、心身ともにリフレッシュできるトイレとして、さまざまな提案が盛り込まれている。また、IoTを活用した「パブリックレストルーム設備管理サポートシステム」を導入。「きれい」と「快適」「環境」を両立させるTOTOらしい商品を「サステイナブルプロダクト」と定義し、これらの商品を採用することで、地球環境に配慮した、きれいで快適・健康な暮らしの実現を目指している。

※2025(令和7)6月にて、コラボレーションは終了しております。

建築概要

名称	TOKYO TORCH 常盤橋タワー
所在地	東京都千代田区大手町2-6-4
施主	三菱地所株式会社
設計	株式会社三菱地所設計
施工	戸田建設株式会社
竣工年月	2021年6月
敷地面積	約31,372㎡
延床面積	約146,000㎡
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造(地下)、鉄骨造、一部柱 コンクリート充填鋼管構造(地上)・地下5階、地上38階

おもなTOTO使用機器

ウォシュレット一体形便器	ネオレストAH:CES9788CR特
大便器ユニット	UTNCBD
棚付二連紙巻器	YH701
二連紙巻器	YH700AW
自動洗浄小便器	US900JCS特
小便器ユニット	UTNUBN
ハイドロセラ・フロアPU	AB690EW
ツインデッキカウンター(ポウルー一体タイプ)	MKWD特
壁掛ハイバック洗面器	LS125DM
洗面器ユニット	UTNLCA
壁付自動水栓	TENA125AH
壁付自動水石けん供給栓	TLK06001J
クリンドライ(ハンドドライヤー)	TYC420W
多機能ユニット	UTNDNC
ベビーチェア	YKA15系
ベビーシート	YKA25系
化粧鏡	YMK52K